

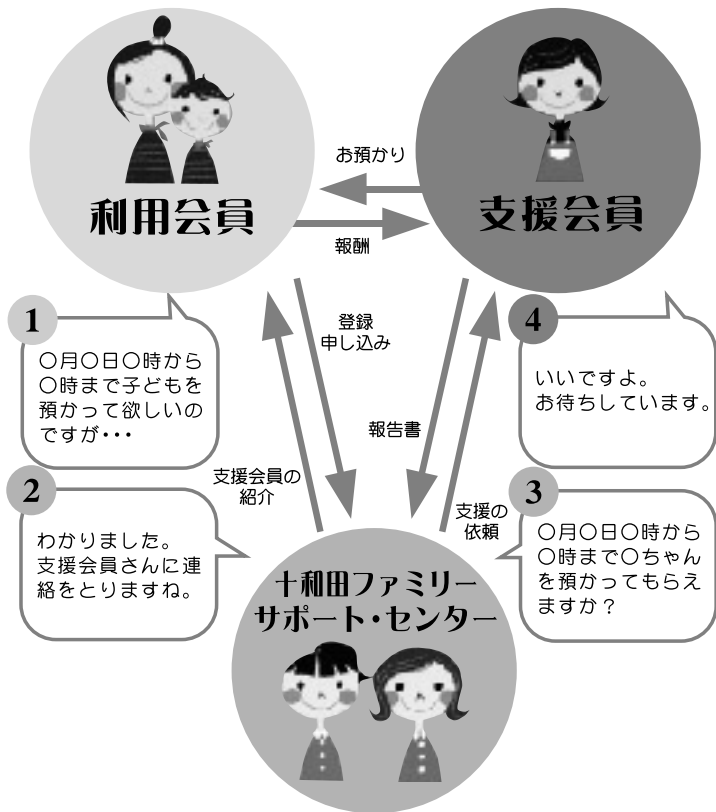
ご存じですか？ 地域で支える子育て支援

核家族化や地域のコミュニティが希薄化し、子育てにストレスや不安を感じる親が多いようです。孤独な子育てが原因で児童の虐待を引き起こすケースもあります。

現在、地域に目を向けるといろいろな子育てサービスがあります。これらのサービスを上手に利用したり、相談をして活用していきましょう。

また、誰もが子どもを育てる地域の一員として、子育てにかかわりを持つことが必要です。

十和田市委託事業 会員登録による子育て支援サービス「十和田ファミリーサポートセンター」の紹介



利用会員 市内に居住、または勤務するかたで、子育ての支援が必要なかた。無料で登録できます。

支援会員 市内に居住し、心身共に健康で、育児支援ボランティア活動に熱意と理解があるかた。登録後、「支援会員養成講座」を受講していただきます。入会金300円

両方会員 支援会員と利用会員のどちらも兼ねたかた。サポートを利用するためには事前の会員登録が必要です。

■おもなサポート内容

- ・保育施設の開始前、終了後の預かり
- ・学校の放課後、学童保育終了後の預かり
- ・子どもの急な病気(軽度)、休園日の預かり
- ・保護者などの病気、急用時、就職活動時の預かり
- ・冠婚葬祭、他の兄弟の行事の際の預かり
- ・買い物、美容院などのリフレッシュ時の預かり
- ・保育施設、習い事などへの送迎 など

■報酬基準 (お子さん1人分の金額)

曜日	時間	報酬金額
月～金	7:00～19:00	1時間当たり700円
	上記時間外	1時間当たり800円
土日祝	どの時間でも	1時間当たり800円

兄弟一緒のお預かりの場合は2人目から半額となります。報酬とキャンセル料の授受は当事者間で行ってください。

●問い合わせ先 十和田ファミリーサポートセンター ☎ 25-0441

このような子育て支援もあります

■十和田東病院病後児保育所 (キッズケアハウス日だまり)

子どもが病気の急性期、または回復期にあり、保護者が家庭で育児、介護をすることができない場合に利用できます。

また、父母が病気で介護できない、引越など介護するかたがない場合も利用できます。

ただし、予約、登録制(当日でも可)など利用には条件があります。

●問い合わせ先 十和田東病院 ☎ 22-5252

■保育園・幼稚園の子育て支援センター事業
子どもが施設に入所している、いないにかかわらず、どなたでも利用することができます。

親子で楽しく過ごしたり、親同士や子育て指導員、保育士などと気軽に情報交換や相談できる親子の仲間づくりの場です。

事業内容や開設日などはセンターによって異なりますので、詳しくは保健センター発行の冊子「ハッピーキッズ」、または各施設で発行している広報誌などを参考にしてください。

■学校支援ボランティア

自分たちの地区や学区で、登下校の小・中学生に声をかけたり、見守りをする町内会や民生委員、老人クラブなどのボランティアがいます。

地域が率先して行う日常的な手助けや見守りが、保護者や学校関係者のかたがたに大変感謝されています。

南小学校学区の地域ボランティアで構成されている南コミュニティは、警察署の防犯モデル地区に指定されています。

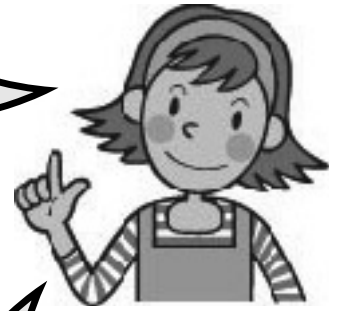
南コミュニティには4つの部会があり、その一つである青少年育成防犯部会が週一回の割合で通学路の見回りなどを行っています。

■ひと声かけてみませんか

公共施設に中学生、高校生が数人いるだけで、学校関係者や施設に苦情が寄せられるようです。

そこで、「今日は天気の良いね」「何か楽しそうだね」とひと声かけてみませんか。世代を問わず、みんなでひと声掛け合うことが子育てを応援するまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

子育て中のお母さん世代の声



- ・子育てしながら食事支度って大変。気分が落ち込むわ。
- ・子育てのために退職したのに家事や育児、介護まで負わされる羽目に。
- ・がんばっているのに、子育てがうまくいかずイライラが募るばかり。
- ・なんか仕事をしてた方が精神的に負担が少なかった。家にいるからってだれも助けてくれない。
- ・仕事していないから家事に専念できていいわね！って人がいるけど、実際は社会からどんどん見放されていくようで不安になるわ。

お父さん世代の声



- ・仕事をしながら家事や育児は大変。これは母親だけの仕事？もっと協力してほしいな！
- ・夫は家事に協力してくれるけど、欲を言えば子どもの健診や予防接種のときも時間休をとって面倒をみてくれるといいな。

- ・最近、男女共同参画って、なんでもかんでも男に押しつけてくるように感じるんだよねー。
- ・休みの日ぐらいいは、ゆっくり家で休みたい。なんだかんだっていうけれど、やっぱり男は仕事。家族を支えているんだから！

おじいちゃん 世代の声 おばあちゃん



- ・平等っていうけれど男には男の人にしかできないこと、女には女の人にしかできないことがあると思うけど。
- ・仕事をしながら家事、育児の手伝いをしている息子がかわいそう！

- ・対等に仕事をしているのに、娘の夫が協力してくれず、娘が不憫です。

親を助けよう！

「濡れ落ち葉」症候群
仕事一筋で無趣味な夫が定年退職し、妻の行動を干渉しすぎることを足にベッタリとまとわりつく葉っぱに例え「濡れ落ち葉」といいます。

「空きの巣」症候群
大事に育てた子どもが独立すると、母親が家が空っぽになったと感じ、生きがいを無くしたと思ってしまう。

みなで社会を支えているというのが男女共同参画の基本です。

男女どちらにも、「自分は助けてもらいたい」「相手にはもっと頑張ってもらいたい」という欲求があります。

仕事、納税、ボランティア、家事、育児、介護など誰もが社会的な責任を負う義務と受ける権利があります。

これまでの慣習にとらわれず、性による差別や不平等な扱いを受けるところなく、一人ひとりがいきいきと暮らせる社会を目指しましょう。

家族で支える子育てをたてまえば...でも本音は？

またまた男女共同参画
いままさ聞へも聞けない